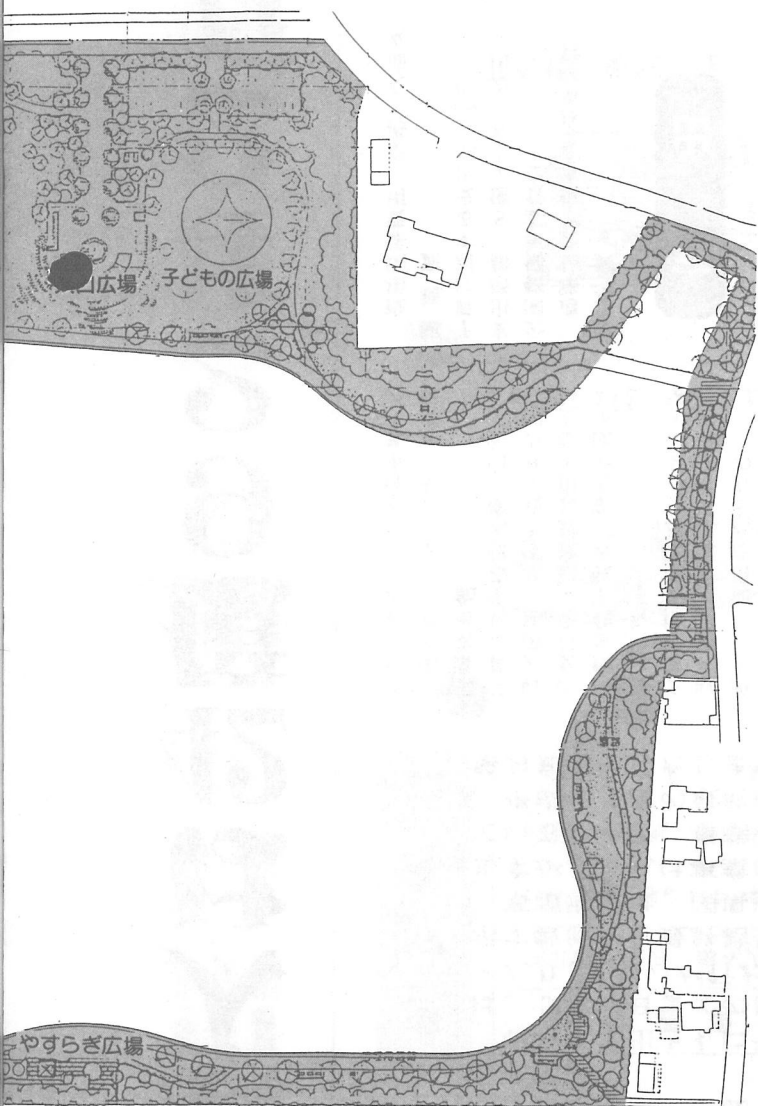


公園完成



シンボルツリーの椎の大樹が正面に植えられた入口広場



竣工式典 無事故を祈願 完成祝う

全面オープンに向け、最終的な工事が進められていた「ふれあい坂田池公園」がこのほど完成、5月25日に竣工式典が行われました。

式典は公園を会場として行われ、用地にご協力いただいた地権者の方々をはじめ、千葉県知事や近隣の市町村長など大勢の関係者が出席。今後の無事故を祈願したあと、實川町長らによってテープカットが行われました。そして同時に完成を祝って色とりどりの風船が大空に放たれると、出席者から一斉に拍手が沸き起こっていました。



将来は総合的な スポーツ公園が誕生

水と緑を活かしたこの公園は、21世紀に向けての町づくり事業の一環として昭和60年に着工、8年の歳月と約9億3300万円が投入されました。

面積は池を含めて約14haで周囲は1・2kmのジョギングコースとなっています。このほか、グランドゴルフなどの軽スポーツが楽しめる「運動広場」(16000㎡)、ザイルクライミングやスプリング遊具が設けられた「子どもの広場」(2700㎡)や「花見の広場」(1900㎡)、「やすらぎ広場」(1250㎡)が配置されています。また、園内には桜やツツジなど4万本の樹木が植えられており、四季折々の花が楽しめるため、お年寄りから子どもまで、全ての方々の憩いとレクリエーションの場として利用していただけます。

いま、公園西隣では本格的な野球場や陸上競技場、テニスコート、ゲートボール場等を整えた(仮称)スポーツ広場の建設が平成8年の完成に向けて着々と進められています。また将来的には坂田の台地を利用した整備も計画されているので、これらが全て完成すると近隣近所に類をみないようなスケール